

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)セコム三鷹第4センター	階数	地上4F 地下1F
建設地	東京都三鷹市	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	- 人
地域区分	6地域	年間使用時間	- 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年5月 予定	評価の実施日	-
敷地面積	4,058 m ²	作成者	-
建築面積	2,692 m ²	確認日	-
延床面積	8,507 m ²	確認者	-

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 4.9

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 3
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 4.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境: N.A. 温熱環境: N.A. 光・視環境: N.A. 空気質環境: N.A.

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 4.0

機能性: 4.3 耐用性: 5.0 対応性: 3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.2

生物環境: 4.0 まちなみ: 5.0 地域性・: 3.5

LR のスコア = 4.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.8

建物外皮の: 5.0 自然エネ: 3.0 設備システ: 5.0 効率的: 5.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 4.5

水資源: 3.8 非再生材料の: 5.0 汚染物質: 4.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

地球温暖化: 3.8 地域環境: 3.6 周辺環境: 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 東京都三鷹市に計画された施設である。 緑地を積極的に設け、自然環境の保全や創出に配慮した計画としている。		その他 -
Q1 室内環境 ・評価対象外	Q2 サービス性能 ・補修必要間隔の長い内装材、配管材を採用するなど建物の長寿命化に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) ・緑地を積極的に設け、自然環境の保全や創出に配慮している。また、敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている。
LR1 エネルギー ・断熱性能の高い建材を採用し、建物外皮の熱負荷抑制に配慮した計画としている。 ・LED照明の採用等により、エネルギー使用量削減に配慮した計画としている。	LR2 資源・マテリアル ・節水器具を採用し、水資源保護に配慮した計画としている。 ・リサイクル材を採用し、非再生資源の使用量削減に配慮している。	LR3 敷地外環境 ・燃焼設備を使用せず、大気汚染防止に配慮している。 ・周辺への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される